

兵庫県感染症発生動向調査週報

平成20年第4週(1月21日~1月27日)

平成20年2月4日 兵庫県感染症情報センター - 発行

この週報は感染症法及びその関連法規に基づく感染症発生動向調査の県内状況を速報するものです。患者数は確定した値ではありませんのでご了承ください。感染症発生動向調査は全数把握対象疾病にあっては県(国)内の全医療機関、定点把握対象疾病にあっては指定の医療機関(定点)からの保健所(健康福祉事務所)への報告に基づいています。

2008年1月1日から麻疹と風疹が、それぞれ全数把握疾患に変更されました。

<http://idsc.nih.go.jp/disease/measles/index.html> (2012年麻疹排除に向けて)

厚生労働省から「今冬のインフルエンザ総合対策について」が発表されています。

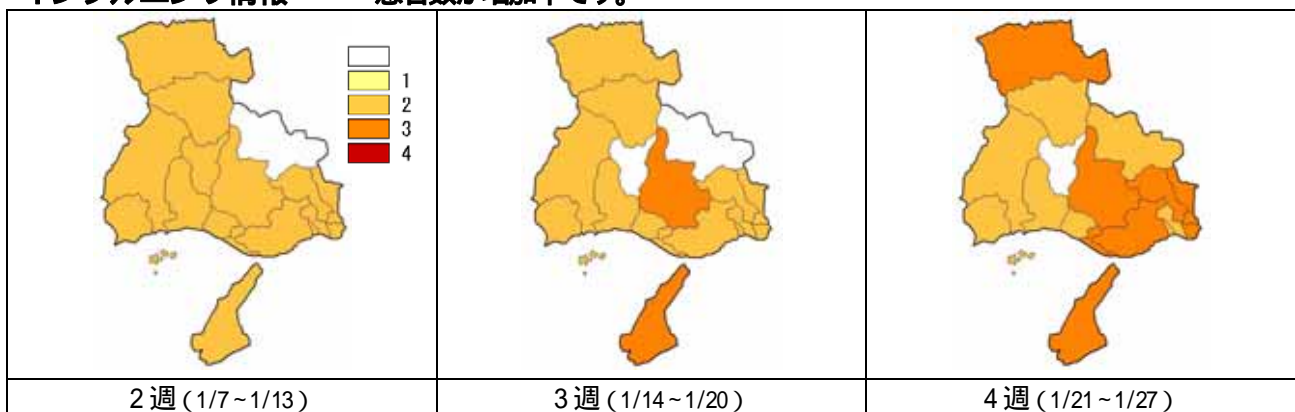
標語 <ひろげるなインフルエンザ ひろげよう咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/index.html> (厚生労働省)

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/infreport/report.html> (インフルエンザ様疾患発生報告)

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/index.html> (流行レベルマップ)

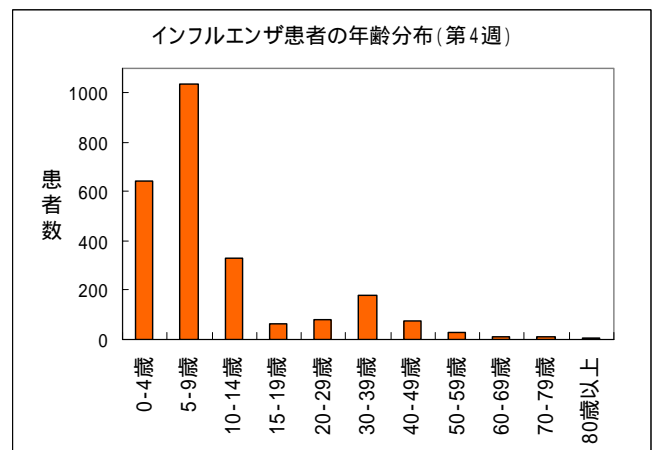
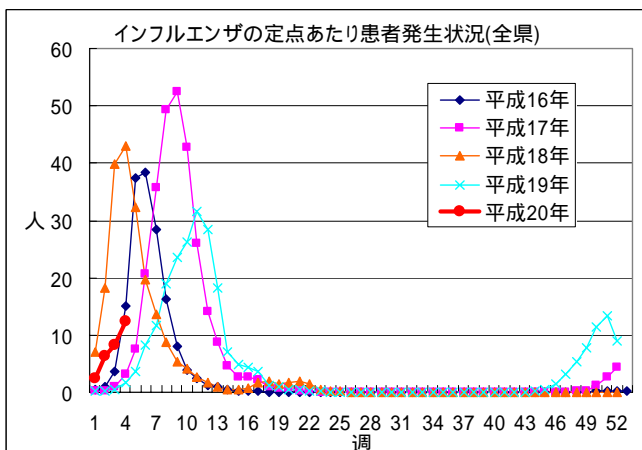
インフルエンザ情報 患者数が増加中です。



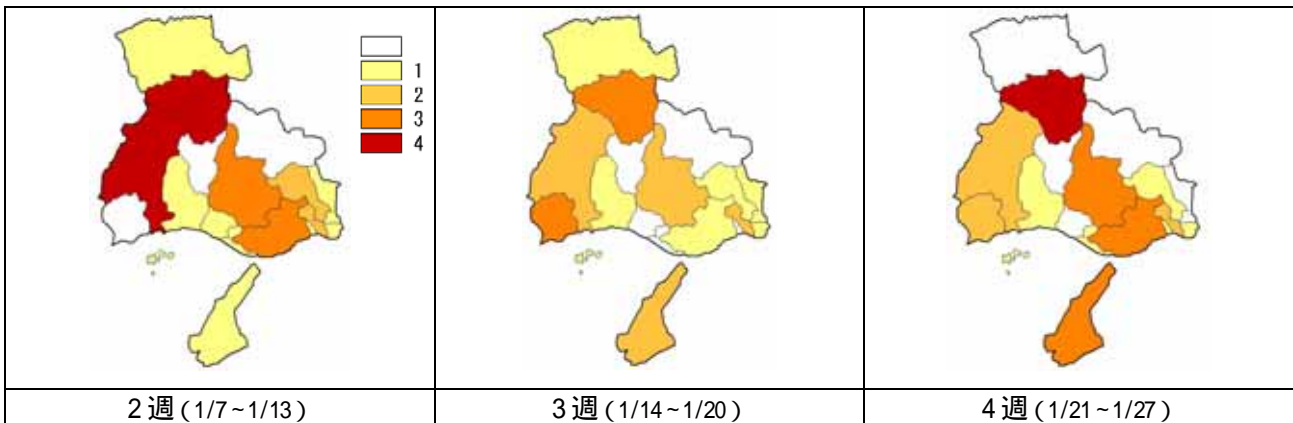
全国のインフルエンザの定点あたり患者数は今週増加し、15.08人(先週9.37人)となりました。8府県が警報レベル、その他42都府県(兵庫県含む)が注意報レベルとなっています(第3週現在)。現在までのところ、全国で分離されているインフルエンザウイルスの約9割をA/H1亜型(Aソ連型)が占めています。

今週県内の定点からは患者数2,460人(先週1,657人)、定点あたり患者数12.36人(同8.33人)の報告がありました。県内半数の保健所管内で注意報レベルである定点あたり患者数10.0人を超えており、とくに社、和田山、洲本健康福祉事務所管内では定点あたり患者数20人を超えています。今後、さらなる患者数の増加が予想され、注意が必要です。患者の年齢分布をみると15歳未満の小児に多い傾向です。小児では中耳炎や急性脳症の合併の危険、高齢者では入院や死亡の危険があるので、罹患が疑われる際は、速やかな医療機関受診が大切です。

インフルエンザ予防のために、帰宅時の手洗い・うがい、適度な湿度の保持、十分な睡眠やバランスのとれた食事、混雑する場所への外出は控える、外出時のマスク着用などを心がけましょう。



感染性胃腸炎 流行はまだまだ続きます。



感染性胃腸炎の定点あたり患者数は今週増加しました。例年3月頃までは患者数の多い状態が続きます。予防の基本は手洗いの励行で、患者の吐物や便を処理する場合は使い捨て手袋とマスクを着用するなど注意が必要です。厚生労働省のホームページにて「**ノロウイルスに関するQ&A**」が掲載されています。 <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/dl/040204-1.pdf> (厚生労働省)

その他の定点把握感染症等の概況

水痘の定点あたり患者数は今週増加しました。冬から春にかけて流行する感染症で、伝染力は麻しんに次いで強く、家族内感染発症率は90%以上といわれ、流行期を迎えている現在、注意が必要です。**RSウイルス感染症**は冬季に流行をみせる感染症で、今週増加しました。**流行性角結膜炎**の定点あたり患者数は2週連続で減少しました。

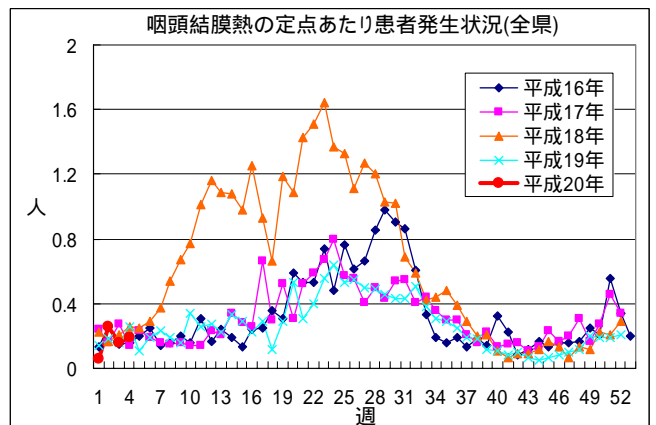
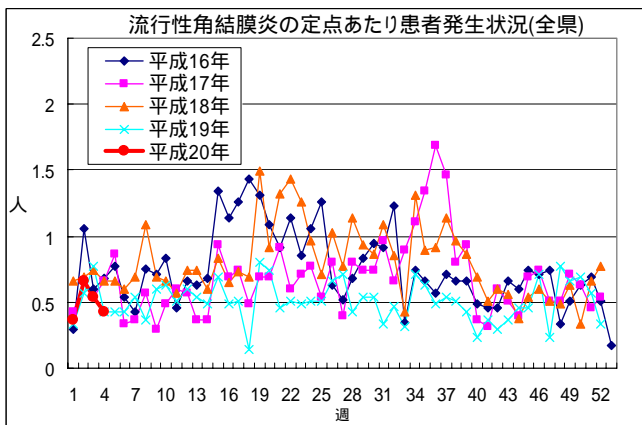
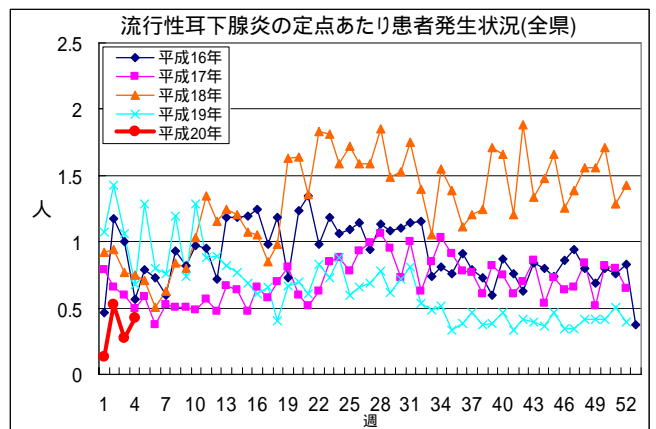
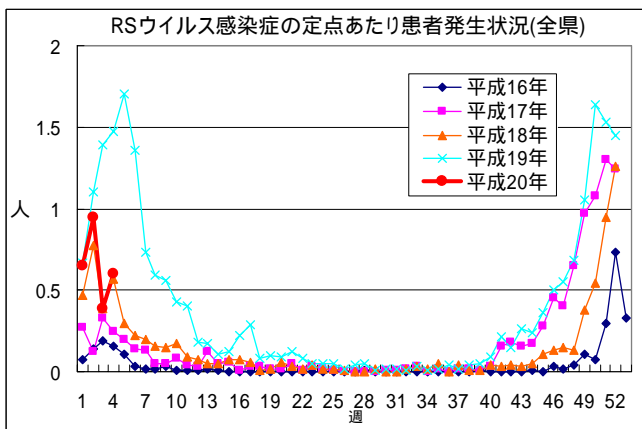
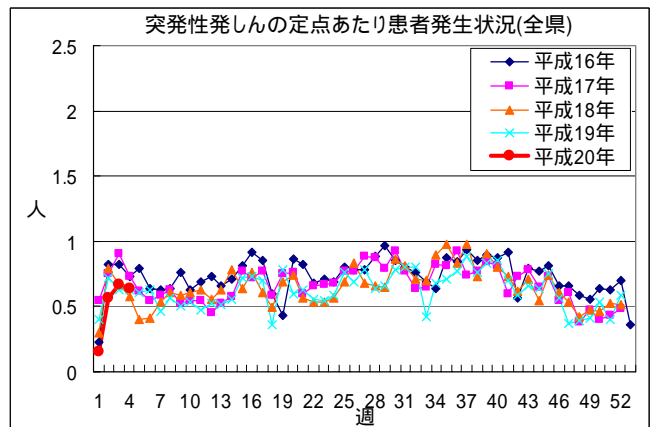
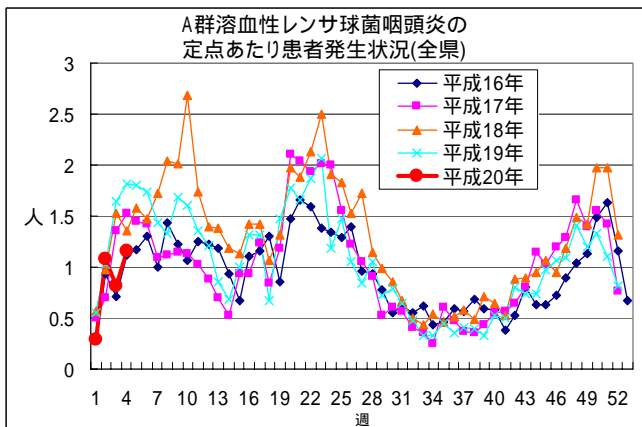
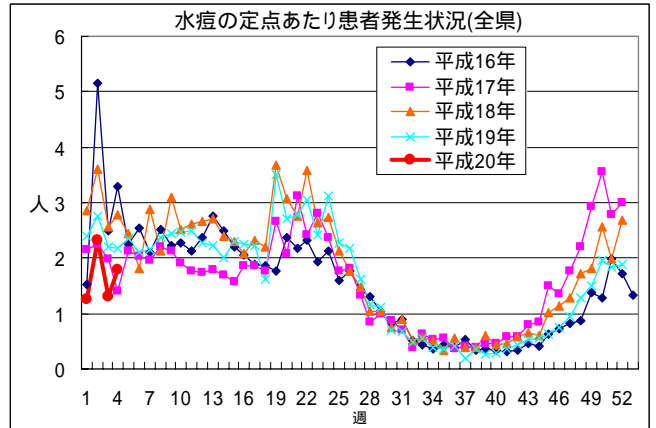
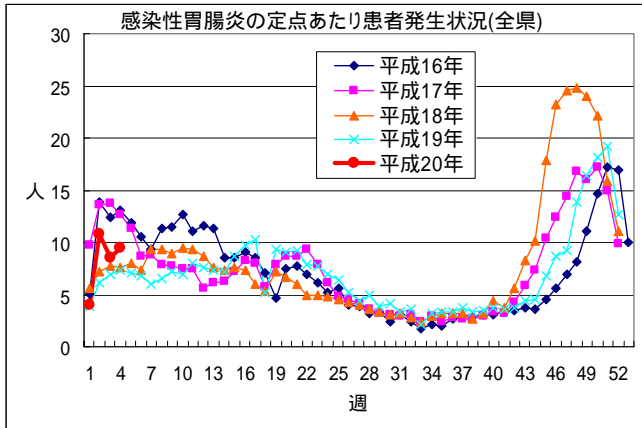
定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減		疾病名	定点あたり患者数	先週	先週からの増減
1位	インフルエンザ	12.36	8.33	+4.03	6位	RSウイルス感染症	0.60	0.39	+0.21
2位	感染性胃腸炎	9.51	8.56	+0.95	7位	流行性耳下腺炎	0.43	0.27	+0.16
3位	水痘	1.80	1.31	+0.49	8位	流行性角結膜炎	0.43	0.54	-0.11
4位	A群溶血性球菌咽喉頭炎	1.16	0.82	+0.34	9位	咽頭結膜熱	0.19	0.16	+0.03
5位	突発性発しん	0.64	0.67	-0.03	10位	手足口病	0.12	0.09	+0.03

全数把握感染症

- 1 類感染症：報告はありません。
 - 2 類感染症：**結核 16名**（尼崎市3名、姫路市4名、西宮市2名、芦屋健康福祉事務所管内1名、宝塚健康福祉事務所管内1名、加古川健康福祉事務所管内2名、社健康福祉事務所管内1名、赤穂健康福祉事務所管内1名、豊岡健康福祉事務所管内1名）
 - 3 類感染症：**細菌性赤痢 1名**（神戸市・海外渡航者）
 - 4 類感染症：報告はありません。
 - 5 類感染症：**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名**（洲本健康福祉事務所管内）
梅毒（晩期顕症梅毒） 1名（尼崎市）・**（無症候） 1名**（加古川健康福祉事務所管内）
風疹 1名（神戸市・9歳・ワクチン接種歴1回有（風しん単抗原））
麻疹 5名（神戸市2名：1歳、60歳・ともにワクチン接種歴無、西宮市1名：23歳・ワクチン接種歴不明、宝塚健康福祉事務所管内1名：17歳・ワクチン接種歴不明、加古川健康福祉事務所管内1名：16歳・ワクチン接種歴無）
- 追加報告：**結核 4名**（姫路市2名；第50週,第52週、社健康福祉事務所管内2名；第52週,第3週）
レジオネラ症 1名（姫路市；第3週）
アメーバ赤痢 1名（西宮市・海外渡航者；第3週）
梅毒（無症候） 1名（加古川健康福祉事務所管内；第3週）
麻疹 1名（柏原健康福祉事務所管内・17歳・ワクチン接種歴不明；第3週）

目で見る動向（県内）



この週報は兵庫県立健康環境科学研究所ホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。

また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報(IDMR)がダウンロードできます。